治療スケジュール

F-31

*レジメン名	BV(5mg/kg)+FOLFOXIRI療法(14日間)(大腸)
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/㎡ d1、 イリノテカン165mg/㎡ d1、 オキサリプラチン85mg/㎡ d1、 5Fu3200mg/㎡ d1、 ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞ5mg/kg d1

*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		ロック用生食	10	mL		○			
		1日1回							
		開始時 CVポートフラッシュ							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL		○			
		アバスチン前プライミング							
		メイン①							
		点滴開始時にアプレピタントカプセル服用							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	90分	○			
	☆	ベバシズマブBS点滴静注	5	mg/kg		○			
		1日1回							
		インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可							
		それ以降、30分投与とすることができる							
		メイン②							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		メイン③							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	100	mL	15分	○			
		デキサート注射液	9.9	mg		○			
		パロノセトロン静注0.75mg	1	瓶		○			
		1日1回							
		メイン④							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	60分	○			
	☆	イリノテカン注	165	mg/㎡		○			
		1日1回							
		メイン⑤							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○			
		レボホリナート点滴静注	200	mg/㎡		○			
		1日1回							
		側管⑥ オキサリプラチンと同時投与							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○			
	☆	オキサリプラチン点滴静注液	85	mg/㎡		○			
		1日1回							
		メイン⑥							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	250	mL	48時間 5mL/h	○			
	☆	フルオロウラシル注	3200	mg/㎡		○			
		1日1回							
		全量230mLに。(Infusor LV5)							
		メイン⑦							
		無菌製剤処理料1							
		携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(化学療法用)							
		休薬完了					●		
		以下別オーダー							
内服		デカドロン錠(0.5mg)	16	錠	d2～4				
		1日2回 朝昼食後							
内服		アプレピタントCap	125	mg	d1				
		1日1回 1本目の点滴開始時							
内服		アプレピタントCap	80	mg	d2・3				
		1日1回 朝食後							